

2009 年 10 月の東北地方の天候

【 10 月の特徴 】

- 台風の上陸・接近による東北太平洋側を中心とした多雨
- 気温の変動が大きい
- 青森県、秋田県で竜巻が発生

(1) 2009 年 10 月の概況

天気はおおむね数日の周期で変化したが、上旬と下旬に台風の影響を受けた。上旬には台風第 18 号が東日本や東北南部を通過した影響で大荒れの天気となり、東北太平洋側を中心に大雨となった。下旬には台風第 20 号が関東の南東海上から三陸沖を北上した影響で荒れた天気となり、東北太平洋側の南部を中心に大雨となった。また、上旬前半や、中旬後半から下旬にかけては気温が平年を上回る一方、上旬後半から中旬前半にかけては寒気が流れ込んだ影響で平年を下回るなど、気温の変動が大きかった。なお、30 日は寒冷前線の通過に伴い大気の状態が不安定となり、青森県、秋田県で竜巻による被害が発生した。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北地方で多い。月間日照時間は東北地方で多い。

(2) 各旬の天候経過

上旬：気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。8 日は台風第 18 号が東日本や東北南部を通過した影響で東北太平洋側を中心に大雨となるなど大荒れの天気となり、各地で強風害や浸水害などが発生した。また、台風通過後は上空に寒気が流れ込み、岩手山では 10 日に初冠雪を観測した。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北地方でかなり多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。

中旬：高気圧におおわれ晴れの日が多かったが、期間の終わりは、気圧の谷の影響により東北日本海側で曇りや雨となった。なお、17 日夜から 18 日にかけて大気の状態が不安定となり山形県で落雷害が、18 日は気圧の谷の通過により秋田県で強風害が発生した。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。

下旬：高気圧におおわれ晴れの日が多かったが、26 日から 27 日にかけて台風第 20 号が関東の南東海上から三陸沖を北上した影響で荒れた天気となり、東北太平洋側の南部を中心に大雨となった。また、30 日は寒冷前線の通過に伴い大気の状態が不安定となり、青森県、秋田県で竜巻による被害が発生した。23 日には盛岡で、25 日には青森で初霜が観測された。

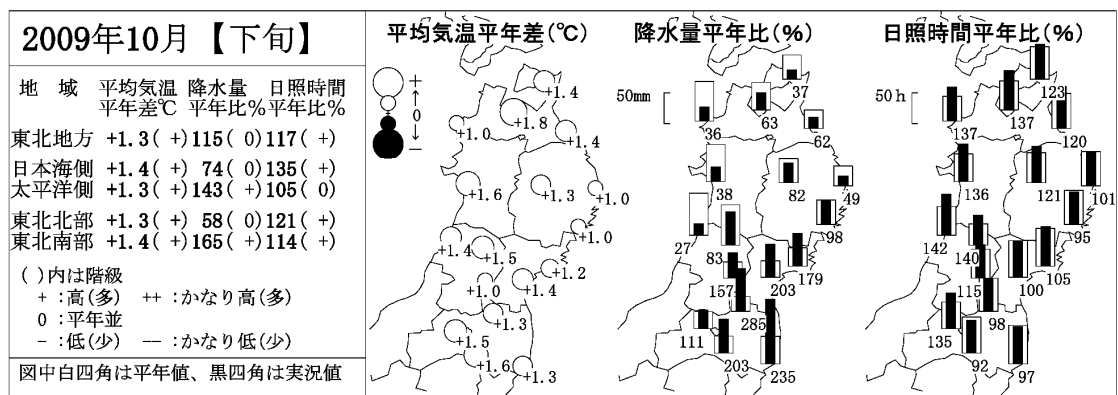
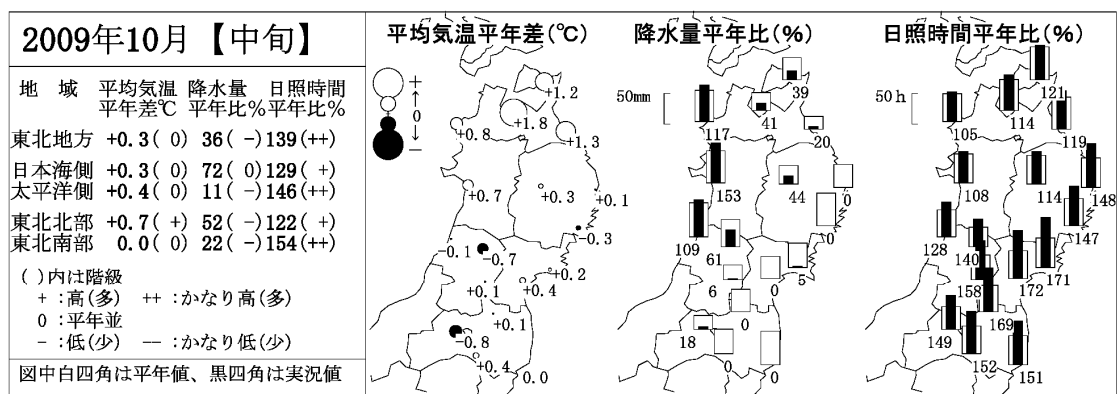
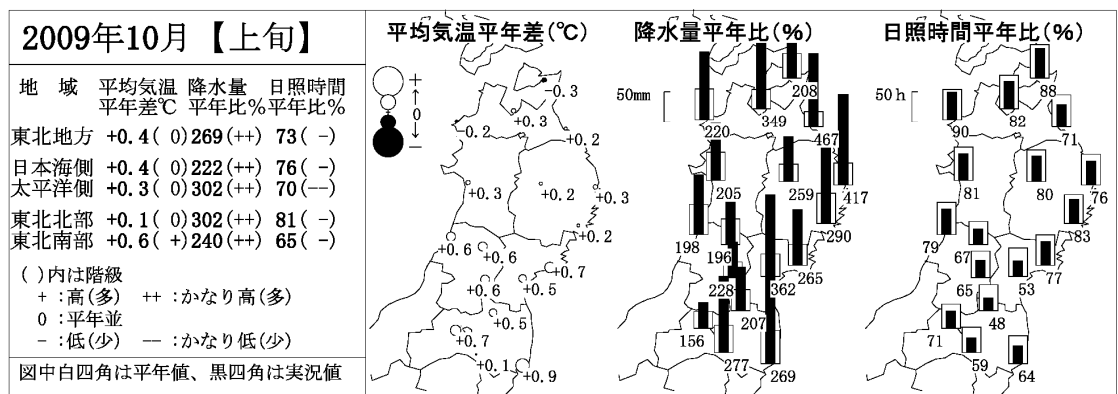
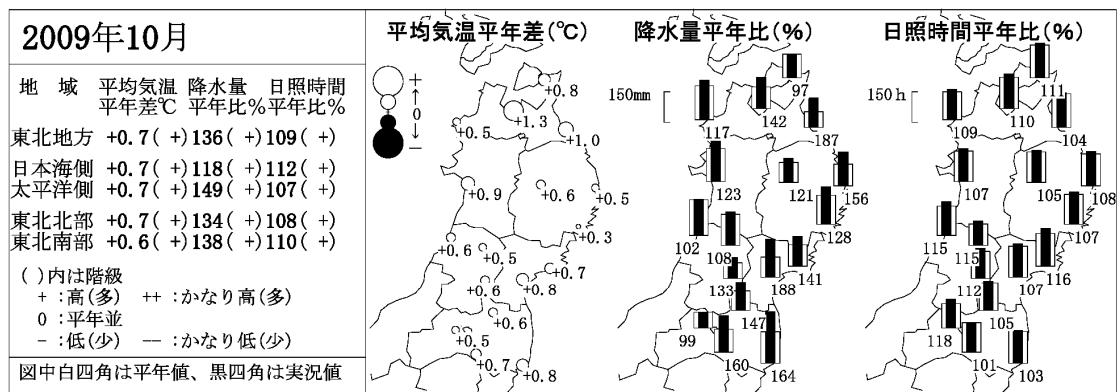
平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。

(注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2009年10月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2009 年 10 月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
青 森	13.9	(+1.3)	+	151.0	(142)	+	15	167.7	(110)	+
深 浦	13.8	(+0.5)	+	193.5	(117)	+	13	147.8	(109)	+
む つ	13.0	(+0.8)	+	112.0	(97)	○	12	177.8	(111)	+
八 戸	13.7	(+1.0)	+	144.0	(187)	+	8	169.0	(104)	○
秋 田	14.5	(+0.9)	+	198.0	(123)	+	18	158.3	(107)	+
盛 岡	12.4	(+0.6)	○	118.5	(121)	+	11	155.8	(105)	○
大 船 渡	14.1	(+0.3)	○	182.5	(128)	+	6	156.9	(107)	+
宮 古	13.6	(+0.5)	+	165.0	(156)	+	5	167.7	(108)	+
仙 台	15.6	(+0.8)	+	186.5	(188)	+*	5	162.6	(107)	+
石 巻	14.9	(+0.7)	+	146.5	(141)	+	7	185.2	(116)	+
山 形	13.8	(+0.6)	+	101.0	(133)	+	8	146.9	(112)	+
新 庄	12.8	(+0.5)	+	164.0	(108)	○	15	118.9	(115)	+
酒 田	15.3	(+0.6)	+	176.5	(102)	○	17	164.3	(115)	+*
福 島	15.4	(+0.6)	+	140.0	(147)	+	5	146.1	(105)	○
若 松	13.7	(+0.5)	+	77.0	(99)	○	8	141.7	(118)	+
白 河	13.9	(+0.7)	+	179.0	(160)	+	6	146.1	(101)	○
小 名 浜	16.9	(+0.8)	+	250.5	(164)	+*	6	160.3	(103)	○

(注) 1. 平年値は 1971～2000 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めた。

また、値が 1971～2000 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+-」に * を付加した。この場合には

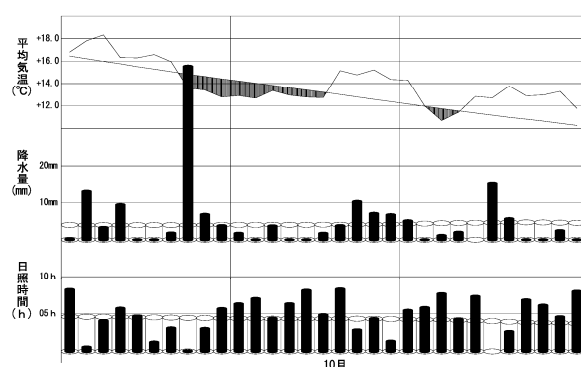
かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

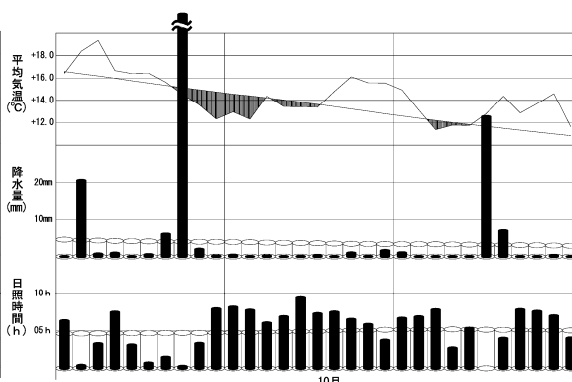
3. 値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

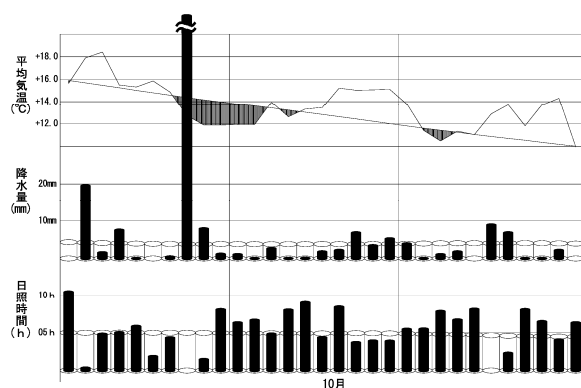
(5) 2009 年 10 月の日別経過図



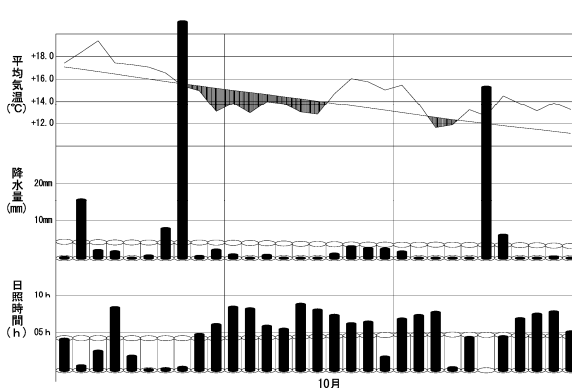
東北日本海側の日別経過図



東北太平洋側の日別経過図



東南北部の日別経過図



東北南部の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(6) 2009 年 10 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

3 位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新

3 位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新

3 位以内はなし

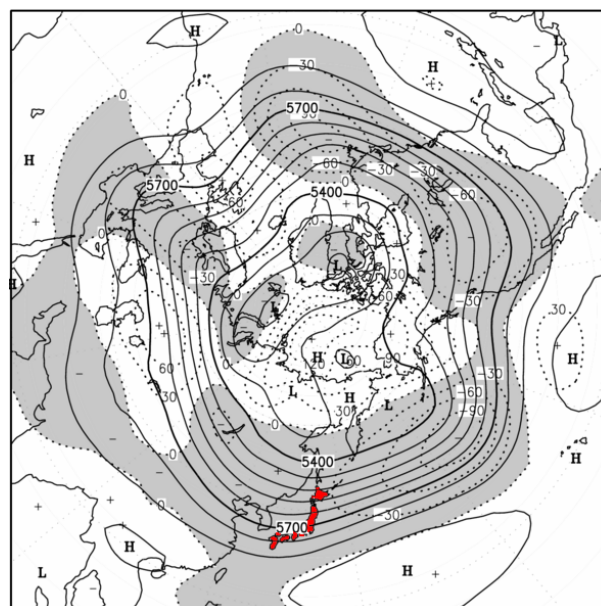
月間日照時間少ない方からの順位更新

3 位以内はなし

(7) 2009 年 10 月の循環場の特徴

500hPa 高度の月平均では、日本付近の中緯度帯は東西に負偏差となったが、日本付近での偏差は小さく、南から暖かい空気が流入して気温の高い日も多かったため、東北地方は高温となった。また、日本付近での偏西風の蛇行は小さく、天気はおおむね数日の周期で変わった。

一方、日本の南東海上には太平洋高気圧がみられ、この太平洋高気圧の縁を回り、2つの台風が本州に上陸・接近した。



2009 年 10 月の平均 500hPa 高度

実線は等高線：60m 毎、点線は偏差：30m 毎
陰影部は負偏差（寒気に対応）

(8) 2009/2010 年寒候期 季節現象

2009/2010 年寒候期 季節現象(初日)									
官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	10. 25	10. 23	11. 11		10. 29	11. 11	11. 2	11. 7	11. 4
秋田		11. 6	11. 11		11. 13	11. 20	11. 2	11. 12	11. 19
盛岡	10. 23	10. 18	11. 2		10. 24	11. 10		11. 8	11. 8
仙台		11. 6	11. 27		11. 16	11. 27		11. 22	11. 20
山形		10. 24	11. 2		10. 29	11. 2		11. 16	11. 19
福島		11. 6	11. 21		11. 11	11. 21		11. 24	11. 20
若松		10. 28	10. 30		11. 6	11. 5		11. 17	11. 19

初冠雪									
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
ハッコウダサン 八甲田山	1584	11. 2	10. 16	10. 12	リュウサン 瀧山	1362	11. 2	10. 30	10. 30
イワキサン 岩木山	1625		10. 15	10. 29	イズミガダケ 泉ヶ岳	1175		11. 6	11. 19
タイヘイザン 太平山	1170	11. 2	10. 31	11. 9	サオウザン 蔵王山	1841		10. 23	10. 30
イワテサン 岩手山	2038	10. 10	10. 13	9. 27	アヅマヤマ 吾妻山	1949		10. 21	10. 27
ガッサン 月山	1984		10. 15	9. 27	イイデサン 飯豊山	2105		10. 17	9. 28
アサヒダケ 朝日岳	1870		10. 19	10. 30	バンダイサン 磐梯山	1819		10. 24	10. 30
カンドサン 雁戸山	1485	11. 2	10. 28	10. 30					

注:蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。

(11 月 2 日 15 時 30 分現在の状況)